

お子さんの聞こえに注意しましょう！

お子さんの聞こえの程度を知っておくことは、ことばの発達を知るためにとても重要です。このリストの各番号は、各月齢ごとにお子さんの聞こえとことばの発達を書き出しています。お子さんの発達は個人差のあるものですが、参考にして見守っていきましょう。

- 0 か月児
 - 突然の音にビクッとする (Moro 反射)
 - 突然の音に眼瞼がギュッと閉じる (眼瞼反射)
 - 眠っているときに突然大きな音がするとまぶたが開く
- 1 か月児
 - 突然の音にビクッとして手足を伸ばす
 - 眠っていて突然の音に眼を覚ますか、または泣き出す
 - 目が開いているときに急に大きな音がするとまぶたが閉じる
 - 泣いているとき、または動いているとき声をかけると、泣き止むかまたは動作を止める
 - 近くで声をかける (またはガラガラを鳴らす) とゆっくり顔を向けることがある
- 2 か月児
 - 眠っていて、急に鋭い音がすると、ピクッと手足を動かしたりまばたきをする
 - 眠っていて、子どものさわぐ声や、くしゃみ、時計の音、掃除機などの音に眼を覚ます
 - 話しかけると、「アー」とか「ウー」とか声をだして喜ぶ (またはニコニコする)
- 3 か月児
 - 眠っていて突然音がすると眼瞼をピクッとさせたり、指を動かすが、全身がピクッとなることはほとんどない
 - ラジオの音、テレビのスイッチの音、コマーシャルなどに顔 (または眼) を向けることがある
 - 怒った声や、やさしい声、歌、音楽などに不安そうな表情をしたり、喜んだり、または嫌がったりする
- 4 か月児
 - 日常のいろいろな音 (玩具、テレビの音、楽器音、戸の開閉など) に関心を示す
 - 名を呼ぶとゆっくりではあるが顔をむける
 - 人の声 (とくに聞きなれた声) に振り向く
 - 不意の音や聞きなれない音、めずらしい音にはっきりと顔をむける
- 5 か月児
 - 耳元に目覚まし時計を近づけるとコチコチという音に振り向く
 - 父母や人の声、録音された自分の声などよく聞き分ける
 - 突然の音や声に、びっくりしてしがみついたり、泣き出したりする
- 6 か月児
 - 話しかけたり、歌をうたってやると、じっと顔をみている
 - 声をかけると意図的にサッと振り向く
 - テレビやラジオの音に敏感に振り向く

- 7 か月児
- となりの部屋の物音や、外の動物の鳴き声などに振り向く
 - 話しかけたり歌をうたってやると、じっと口元を見つめ、ときに声を出して答える
 - テレビのコマーシャルや、番組のテーマ音楽の変わり目にパッと向く
 - 叱った声（「メッ!」「コラッ!」など）や近くで鳴る突然の音に驚く（または泣き出す）
 - 動物の鳴き声をまねるとキャッキョウって喜ぶ
 - 機嫌よく声を出しているとき、まねてやると、またそれをまねて声を出す
 - 「ダメッ!」「コラッ!」などという、手を引っ込めたり、泣き出す
 - 耳元に小さな音（時計のコチコチなど）を近づけると振り向く
- 9 か月児
- 外のいろいろな音（車の音、雨の音、飛行機の音など）に関心を示す（音のほうにはっていく、または見まわす）
 - 「オイデ」「バイバイ」などの人のことば（身振りを入れずにことばだけで命じて）に応じて行動する
 - となりの部屋で物音をたてたり、遠くから名を呼ぶとはってくる
 - 音楽や、歌をうたってやると、手足を動かして喜ぶ
 - ちょっとした物音や、ちょっとでも変わった音がするとハッと向く
- 10 か月児
- 「ママ」、「マンマ」または「ネンネ」など、人のことばをまねていう
 - 気づかれぬようにして、そっと近づいて、ささやき声で名前を呼ぶと振り向く
- 11 か月児
- 音楽のリズムにあわせて身体を動かす
 - 「…チョウダイ」というと、そのものを手渡す
 - 「…ドコ?」ときくと、そちらを見る
 - となりの部屋で物音がすると、不思議がって、耳を傾けたり、あるいは合図して教える
- 12 か月児～15 か月児
- 簡単なことばによるいいつけや、要求に応じて行動する
 - 目、耳、口、その他の身体部位をたずねると、指を指す

参考：「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」
（厚生労働省科学研究子ども家庭総合研究事業）